

令和4年度働き方改革校内推進者養成研修

「教職員の働き方改革挑戦校」

県教育委員会では平成30年度に「教職員の働き方改革プラン」を定め、長時間勤務の是正、ワーク・ライフ・バランスの適正化に取り組んでいるところです。

今年度、学校の働き方改革をさらに加速させるために、県内から「働き方改革挑戦校」を募集し、先生の幸せ研究所所長 澤田 真由美 先生の支援・助言を受けながら、校内の働き方改革の推進を図るとともに、働き方改革において地域の中核となるリーダー教職員の育成をめざす研修に取り組んでいます。挑戦校は、小学校5校、中学校5校、県立高校4校、特別支援学校1校の計15校です。第1回研修を迎える前にオンラインでの座談会を行い、参加者同士で働き方改革について順調に進んでいることや困っていることなどを中心に情報交流を行いました。

研修は全5回ありますが、第1回から第4回までの研修の概要や様子をお伝えします。

【第1回研修】9月13日（火） 島根県教育センター

☆研修の概要

《前半：講義・演習など》10:00～12:00

1. 澤田所長の自己紹介、事業紹介
2. 働き方改革の目的やアプローチの仕方
3. 各学校の取組紹介等

《後半：協議・ワークショップなど》13:00～17:00

4. 役立つ思考法「クリティカルシンキング」
5. ワークショップ「時間予算ワークショップ」
6. 実現シートの作成・共有
7. まとめ

(松江一中：勝部主任作成の研修メモ)

The image shows handwritten notes from a workshop, organized into several sections:

- Top Left:** "令和4年度 教職員の働き方改革挑戦校 第1回研修" (2022.09.13). Includes a drawing of a person and text about "プロジェクト型業務改善" (Project-type business improvement) and "働き方改革は学校にリベットの" (Working style reform is like a screwdriver for schools).
- Top Middle:** "【各学校の取組紹介】" (Introduction of measures for each school). A diagram shows "校長" (Principal) and "教職員" (Teachers) with arrows indicating communication and awareness.
- Top Right:** "学校だよりへ" (To the school newsletter). A tree diagram with "校長" (Principal) at the top and "教職員" (Teachers) at the bottom, with arrows pointing to "校長" and "教職員" boxes.
- Middle Left:** "変化の源" (Source of change). A circular diagram with "変化の源" in the center, surrounded by "決定" (Decision), "実行" (Action), and "評価" (Evaluation).
- Middle Middle:** "働き方改革とは何ぞと?!" (What is working style reform?!). A central box with "校長(リーダー)の推進役(担当)は どう 任せる?!" (How should the role of the principal (leader) in promoting (responsibility) be assigned?!). Below it, "働き方改革は教育の質の向上" (Working style reform is the improvement of the quality of education).
- Middle Right:** "クリティカルシンキング!" (Critical Thinking!). A diagram with "クリティカルシンキング!" at the top, "バイス思考" (Bias thinking) on the left, and "目的" (Purpose) on the right.
- Bottom Left:** "仕事 = 価値 + 時間" (Work = Value + Time). A diagram showing "仕事" (Work) as a combination of "価値" (Value) and "時間" (Time).
- Bottom Middle:** "時間をついて 想いを語りあう" (Follow time and share thoughts). A diagram with "時間をついて 想いを語りあう" and "全体として動けば: 誰か一人は 止まる" (If everyone moves together: someone will stop).
- Bottom Right:** "時間予算ワークショップ" (Time Budget Workshop). A diagram with "時間予算ワークショップ" and "目的" (Purpose).

☆研修の様子



☆参加者の感想

働き方改革をするためには、全校で対話することが大切だと改めて感じた。目的意識を共有して、ざっくばらんに話をして、1つでも「やってよかった」と思えることを実現していきたい。

いずれの学校種・学校でも教員の働き方はまだ解決されていない課題であり、学校の実状によってアプローチは様々であると感じた。また、改革の余地や見通し可能な部分がまだまだあると再認識した。

他の学校の困りごとやそれに対する改善方法など、自分の視点とは違う考え方に触れて、刺激とやる気をいただきました。

研修を通して校内担当者とビジョンを共有しながらじっくりと話し合いができてよかった。そのビジョンや手段について、グループでの交流や澤田先生のお話を通じて、深めたり実現性の高いものにしたることができることができてよかった。

推進リーダーとして、プランをもって行動することの大切さを学ぶことができました。自分自身の幸せとみんなの幸せのために「まずやってみよう」のスタンスでやっていきたいと思います。

とにかくやってみる。タイミングを見計らっている間に時は進む。
レッツ・チャレンジ！

プロジェクトをスタートしたところで、次どのようにもっていくか悩んでいたが、ワークショップのヒントをいただいたので、進めていけそう。

働き方改革が一校のみに留まらず、一校の職員の転勤や本日のような研修、そして、挑戦校の取組を通して全県に広がっていき、島根が働き方改革先進県になり、教師を志す若い人材が一人でも増えていってほしいです。

澤田所長がとても元気で、気持ちよく研修ができました。本校の一步が動き出すプランができました。

【第2回研修】10月12日（水） オンライン研修

☆研修の概要

《前半：情報共有》10:00～12:30

1. 前回の振り返り
2. 進捗共有（第1回研修からの動きなど）
3. 実践交流（校種別）
4. 情報共有システムを使った現状シートの作成 → 全体共有
 - ①よかったこと、続けたいこと、感謝したい人
 - ②いまいちなこと、課題、改善したいこと

《後半：業務改善ワーク》13:30～16:00

5. 「目的を出し尽くすワーク」（情報共有システムを使用）
 - バイアスによって縛られている業務の目的や手段を問い直し、より上位の目的へとアップデートすることにより、今ある業務を精査する。
6. 情報共有システムを使った実現シートの作成
7. まとめ
8. 事務連絡（個別相談等について）

☆「目的を出し尽くすワーク」のワークテーマと情報共有システムの画像

- 黄色付箋：関連する情報を出し切る
- 桃色付箋：何のためにやっているのか
- 水色付箋：何のためにやっていないのか

小学校班：ノートへのコメントについて 児童のノートへのコメントは何のため？

①「ノートへのコメント」

- 黄色付箋：「コメントを添えてもいいからしれない、時々コメントをする。あとは、スタンプやシールなど、もしくは、直接伝える。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気につながるが、一言とはいう時間がかかる。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気が残るかもしれないという期待。」
- 黄色付箋：「コメントを添えてもいいからしれない、時々コメントをする。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気につながるが、一言とはいう時間がかかる。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気が残るかもしれないという期待。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気につながるが、一言とはいう時間がかかる。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気が残るかもしれないという期待。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気につながるが、一言とはいう時間がかかる。」
- 黄色付箋：「子ども達のやる気が残るかもしれないという期待。」

②「関連意見や情報」

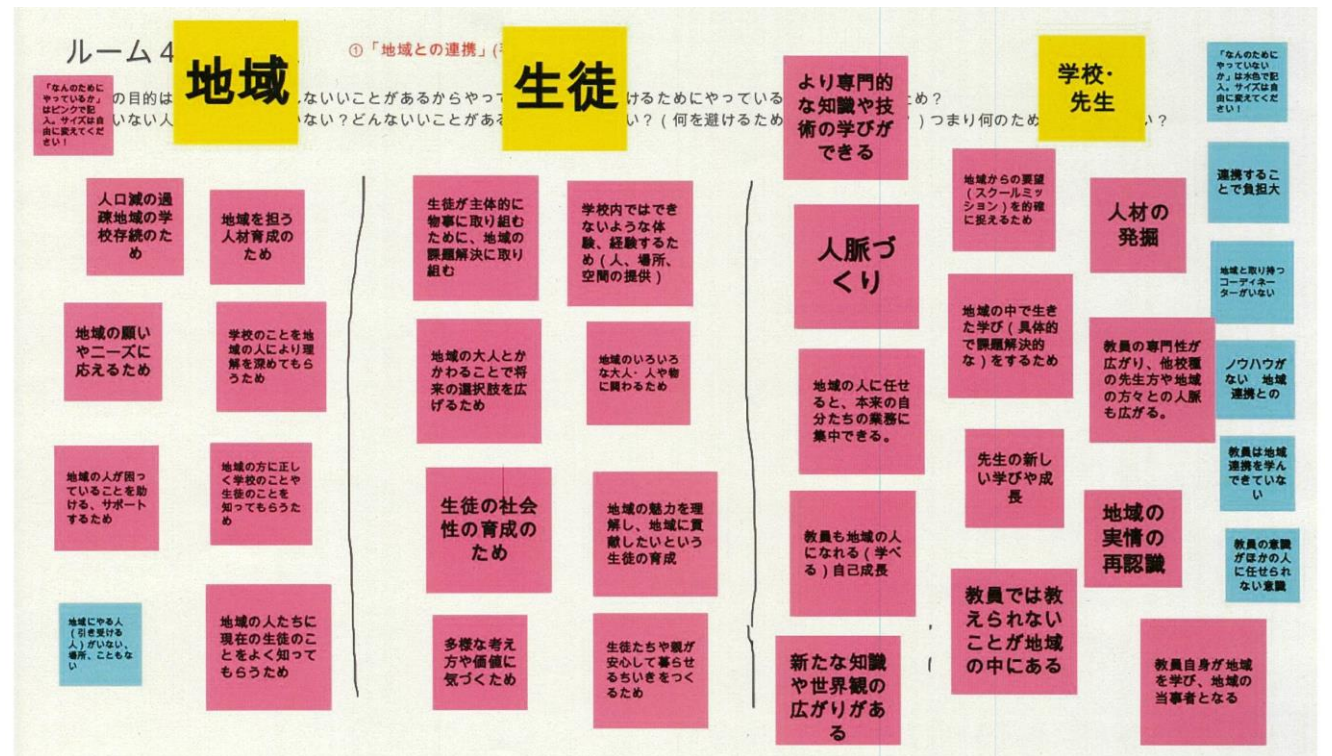
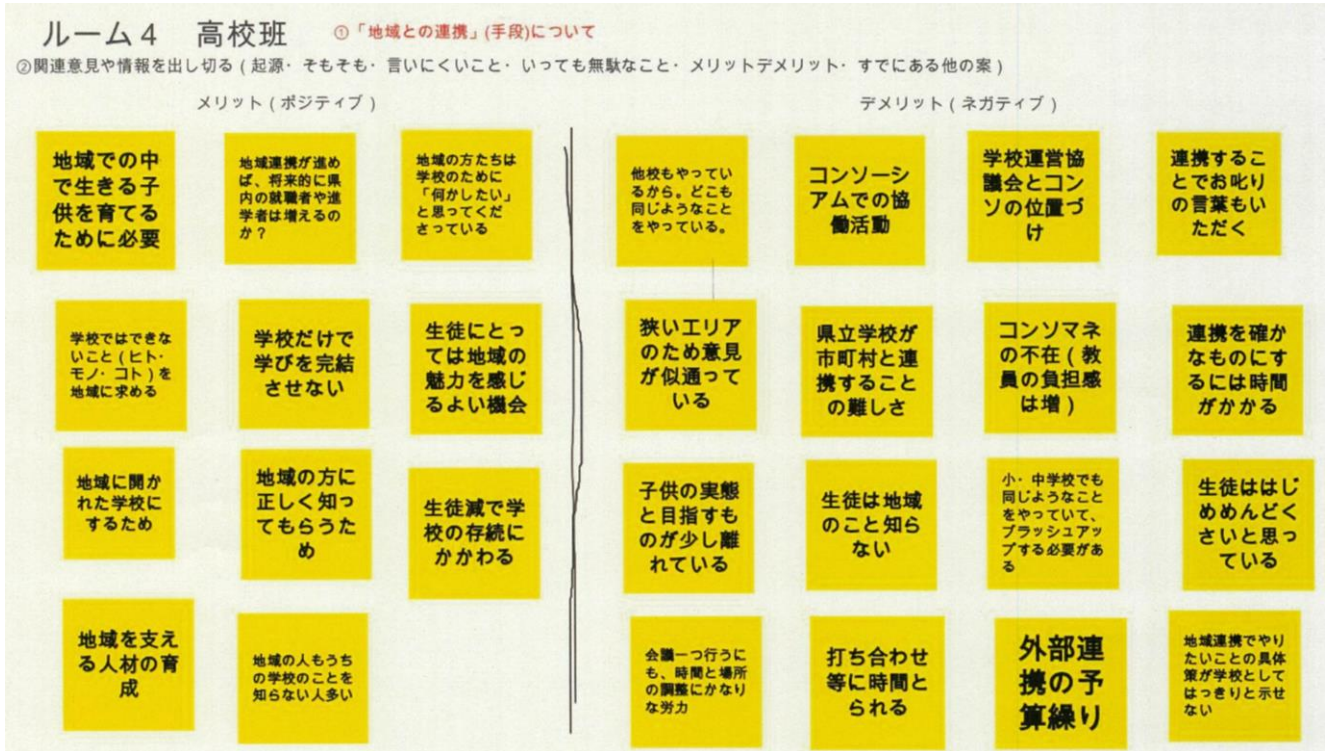
- 黄色付箋：「黄色で記入。サイズは自由に考えてください！」
- 黄色付箋：「時間がかかる。」
- 黄色付箋：「ハンコで終わりたい！」
- 黄色付箋：「記入に時間がかかる。」
- 黄色付箋：「直接話にくい子が、思いを表現する場に。」
- 黄色付箋：「子どもはほめる機会が増える！」
- 黄色付箋：「子どもとつながる。」
- 黄色付箋：「毎日する必要がある。」
- 黄色付箋：「児童の励みになる。」
- 黄色付箋：「ノートを2冊準備？」

③「子どもとの信頼関係を築くため」

- 桃色付箋：「子どもとの自己肯定感を高めるため。」
- 桃色付箋：「子どもとつながるため。」
- 桃色付箋：「児童理解のため。」
- 桃色付箋：「子どもの喜びのため。」
- 桃色付箋：「子ども達のやる気。」
- 桃色付箋：「子どものやる気。」
- 桃色付箋：「子どもの自己肯定感を高めるため。」
- 桃色付箋：「子どもとつながるため。」
- 桃色付箋：「児童理解のため。」
- 桃色付箋：「子どもの喜びのため。」
- 桃色付箋：「子ども達のやる気。」
- 桃色付箋：「子どものやる気。」
- 桃色付箋：「子どもの自己肯定感を高めるため。」
- 桃色付箋：「子どもとつながるため。」
- 桃色付箋：「児童理解のため。」
- 桃色付箋：「子どもの喜びのため。」
- 桃色付箋：「子ども達のやる気。」
- 桃色付箋：「子どものやる気。」
- 水色付箋：「先生方との情報交換の時間を確保できる。」
- 水色付箋：「リフレッシュのため。」
- 水色付箋：「他の仕事をやる時間。」
- 水色付箋：「子どもと遊んだり、時間割をする時間が減る。（つながりを築かれる）」

高校班：地域との連携について

地域と連携を図るのは何のため？



【第3回研修】11月9日（水） オンライン研修

☆研修の概要

《前半：情報共有・個別相談》10:00～12:30

1. 前回の振り返り
2. 自校の取組の振り返り
→ 校種別で共有
3. 今後の計画立案（アクションシート）
→ 案をもとに個別相談（各校30分程度）

※個別相談の裏で情報共有

《後半：個別相談・事例紹介など》13:30～16:00

4. 個別相談の続き
※個別相談の裏で情報共有
5. 事例紹介（保護者連携など）
6. 本日の振り返り
7. まとめ（トリセツシートやモチベーショングラフなど）
8. 事務連絡（報告会の作成資料について）

☆アクションシートの一部

アクションシート		アクションシート	
<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学部・分掌の業務改善案や工夫しているの事の集約 ・各個人の働き方の工夫やこつ集約 	<p>②具体的にアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される困難と乗り越え方 ・アクションする日(いつ・いつまでに) ・11月18日までに提出→集約→この扱いについて今検討中 ・11月11日までに提出→集約→集約したものを「はまよう働き方のこつ 100」を作成 	<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <p>全職員対象のワークショップ</p> <p>↓</p> <p>職員会の1コマをもらう。</p>	<p>②具体的なアクション</p> <p>11月21日に全職員対象ワークショップ</p> <p>↓</p> <p>働き方改革に向けてのワーキングメンバーを増やす。(即日アンケート)</p> <p>現在8人→16人くらいに</p> <p>その後、メンバーをプロジェクトに分ける。(時間割プロジェクト、清掃プロジェクトなど)</p> <p>12月中にどこかのプロジェクトでアクションを</p>
<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトメンバー、各主任 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけで盛り上がりがない。 ・協力者を巻き込む意識 ・このプロジェクトで無理しない。 	<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て真っ最中のババママ先生 ・初任者2名 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの確認や見直しを持つこと。
アクションシート		アクションシート	
<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Googleチャットの活用 ・マチコミの活用 ・行事の見直し ・共有のPC内のフォルダの整理 ・学期末の事務処理のための時間の確保 ・働き方改革推進委員会を定期的に行う ・ノ残業デーの提案 	<p>②具体的にアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Googleチャットの活用の研修を行う。(他校でGoogleチャットを活用してしるPCに堪能な事務職員に来てもらう予定) 	<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <p>ここに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の朝礼での端末利用 生徒のICT端末利用の毎朝の習慣化 ①朝礼伝達の簡素化→朝礼時間の短縮 ②健康観察の簡素化→朝礼後の時間の生み出し ③学習時間調査の簡素化→季節ごとの集計 	<p>②具体的にアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される困難と乗り越え方 ・アクションする日(いつ・いつまでに) ここに記入 ・11月末くらいを目指し、入力フォームの作成、試し、 ・12月もしくは3学期には生徒たちが毎日確認、入力等ができています。
<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職 ・事務職員 ・低・中・高学年それぞれの先生 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <p>気になることがあれば、小さなことでも声をあげてもらいたい(Googleチャットなど気軽に提案できるところを作る)</p>	<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <p>ここに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT担当、MIT ・1年学年会 ・保健主任、養護教諭 ・ICT支援員? 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <p>ここに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年学年主任に負担がかかりすぎている。(ICT担当でもあるので) ・先生たちが疲弊しないように進めていきたいが、

【第4回研修】12月7日（水） オンライン研修

☆研修の概要

《前半：報告会の資料作成とブラッシュアップ》10:00～12:30

1. アイスブレイク
2. 報告会の概要及びフォーマットの説明
3. 資料作成（個人作業）
4. ペアでのブラッシュアップタイム

《後半：個別相談・個人作業等》13:30～16:00

5. 個別相談
※個別相談の裏で個人作業及び発表練習
6. まとめ（報告会に向けて）
7. 本日の振り返り

☆参加者の感想

さまざまな取り組みを聞かせていただき参考になりました。視点を教えてもらいました。やっぱり、対話が大事ですね。

発表の練習を見せていただいて、とても参考になりました。発表のイメージがわきました。ありがとうございました。

この研修に出るたびに意欲が高まります。

単に勤務時間を減らすためではなく、より高い目標に向けての働き方改革でなければならぬと再認識しました。

あっという間に今日の時間が経ちました。発表用の資料を作成しながら、今までの取組をふり返ることが出来ました。最後の研修の際のイメージがもてました。各学校の取組を紹介してもらい、活力をもらいました。ありがとうございました。

他校の取組も参考にしながら、報告会までに話したいことを整理しておきたいと思っています。

発表のブラッシュアップができました。ありがとうございました。また、他校の取組も知ることができて大変参考になりました。

メインメッセージがしっかり伝わるように、対話を大切にしながら準備を進めていきたいと思いました！

他の学校の具体的な取組を様々知ることができ、参考になりました！ありがとうございました。

行った活動がメインに挙げた目標に近づけたか、というところが大切だと思いました。

個別相談で、率直な悩みを聞いていただき、ありがとうございました。参考になりました。

最終回の第5回研修の内容は、挑戦校の実践や成果の報告会がメインになります。報告会には、島根県内の公立学校教職員・学校関係者にも参加を募ります。挑戦校の実践が島根県全体へ広がっていくことを期待しています。

第5回研修：令和5年1月18日（水）13:10～15:35 オンライン開催